ボーリング柱状図

調　査　名　　平成26年度 公営住宅弥永住宅新築工事 地質調査委託

事業・工事名

ボーリングNo.

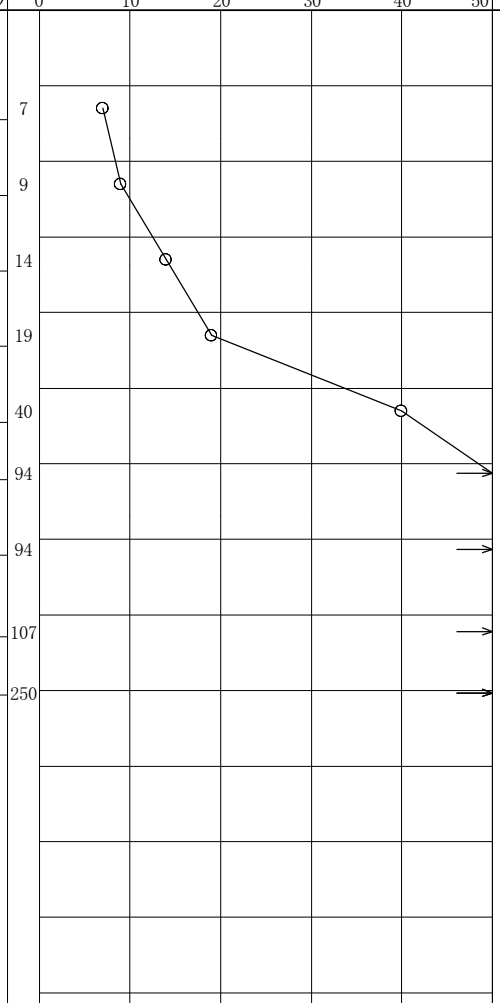
シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	福岡市南区弥永団地内					北緯	33°31'51.9"
発注機関	福岡市住宅都市局 住宅部住宅建設課			調査期間	平成26年10月7日 ～ 26年10月7日			東経	130°26'09.2"
調査業者名	平成地研株式会社 電話(092-575-0340)	主任技術者	内田 賢次	現場代理人	松元 博康	コア鑑定者	松元 博康	ボーリング責任者	小田 暁生
孔口標高	17.32m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機：東邦式D0-D型 / ハンマー落下用具：半自動落下
総掘進長	9.00m								エンジン：ヤンマー式NFD9型 / ポンプ：東邦式BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	16.52	0.80	0.80		埋土・砂質土	褐灰			マサ土による埋土で、細粒分を多く含む細～粗粒砂からなる	
1	15.62	0.90	1.70		シルト質砂	暗褐灰	緩い		シルト分を非常に多く含む微細砂からなる	
2	14.92	0.70	2.40		砂	褐灰	緩い		粒子均一な細中粒砂を主体とする細粒分を少量含む	
3 4	12.22	2.70	5.10		砂礫	褐灰～黄褐灰	中位の		礫は径2～30mm大の花崗岩の小礫を主体とする マトリックス(基質)は細粒分を含む中～粗粒砂を主体とする 目視による混礫率は50～60%程度	10/7 3.30
5 6	11.32	0.90	6.00		強風化花崗岩・砂質土	淡黄灰～淡褐灰			コアは原岩組織を留めるが、風化が著しく進行し固結した粘土質砂状を示す	
7 8	8.32	3.00	9.00		風化花崗岩・風化軟岩	淡褐灰～褐灰			風化軟岩状を示す コアは原岩組織を留めるが、岩質は脆く指圧～ハンマーの軽打にてボロボロに砕け細片化する程度の硬さ	
9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19										

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	2	3	7／30	7
1.45 2.15	2	3	4	9／30	9
2.45 3.15	5	4	5	14／30	14
3.45 4.15	7	7	5	19／30	19
4.45 5.15	12	14	14	40／30	40
5.45 6.05	29	21／6		50／16	94
6.21 7.05	25	25／6		50／16	94
7.21 8.15	27	23／4		50／14	107
8.29 9.00	50／6			50／6	250
9.06					



原位置試験

深度(m)	試験名および結果

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
2.15 2.45	2	⊖	粒度	10／7